

TDK Today

Vol.50 2012年4月1日 ▶
2012年9月30日

特集

スマートグリッドと TDK



株主の皆さまへ

厳しい事業環境のもと、
全社一丸となって収益改善に
注力してまいります

代表取締役社長 上 釜 健 夫

2013年3月期上半期の業績について

2012年9月30日に終了しました2013年3月期上半期（2012年4月1日から9月30日までの6ヶ月間）の連結業績についてご報告申し上げます。次のとおり、当上半期の連結売上高は4,156億円、営業利益は204億円、また当期純利益は97億円となりました。

2013年3月期 上半期連結業績概要

売上高	4,156億円（前年同期比 0.1%減）
営業利益	204億円（前年同期比 40.9%増）
当期純利益	97億円（前年同期比 44.7%増）

不透明感を増す世界経済の動き

当期間の世界経済は、米国で景気回復の兆しが見られたものの、欧州における信用不安や経済活動の低迷が続きました。また、中国やインド等の新興国経済は引き続き成

長しているものの、ここに来て成長率の低下も見られ、今後の世界経済の見通しに対する不透明感は増しています。

通信や自動車は堅調、情報家電は低調

エレクトロニクス市場の状況を見ますと、スマートフォンやタブレット端末の生産は前年同期の生産水準を上回って堅調に推移しました。また、ハイブリッド自動車や電気自動車を中心に自動車市場全体の生産も前年同期と比べて増加しました。しかし、薄型テレビやパソコン、そしてハードディスクドライブ（HDD）の生産は、需要変動により前年同期の生産水準を下回りました。

このような経営環境の中、当社グループの上半期決算とその主なポイントは次のとおりとなります。

<2013年3月期 上半期決算のポイント>

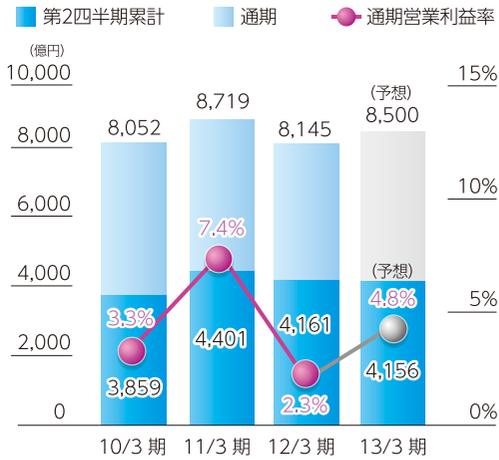
■ 連結売上高は前年同期比0.1%減、 営業利益は40.9%増

- HDD市場の減速により記録デバイスの販売が想定を下回って推移
- 受動部品の通信市場向け販売の増加が想定を下回って推移
- 昨年発生したタイ洪水に係る受取保険金54億円を営業利益に計上
- 収益力改善に向けた構造改革は計画通り実行中

※為替変動の影響としましては、前年同期に比べ対米ドルで0.5%、また対ユーロで11.6%のそれぞれ円高となり、売上高で約62億円の減収、営業利益で約9億円の減益となりました。

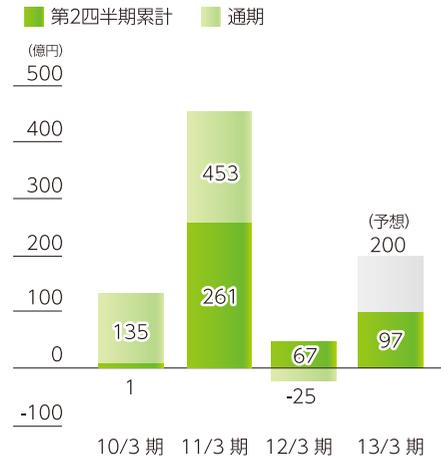
※製品別業績につきましては3ページに記載しておりますのでご覧ください。

売上高及び営業利益率



(注) 2012年3月期に非継続となったディスプレイ事業に係る数値を組替え再表示しております。
(但し、2010年3月期の第2四半期累計は除く)

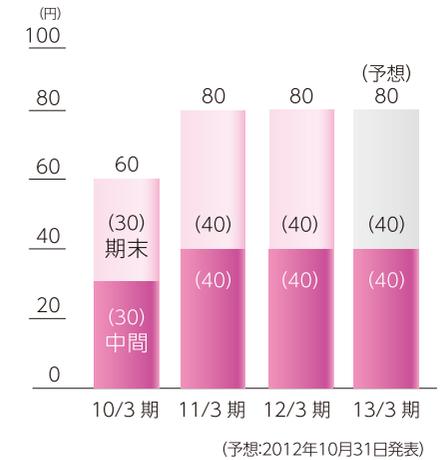
当期純利益



総資産及び株主資本比率



1株当たり配当金



業績と配当の見通しについて

上半期の業績と事業環境の変化をふまえ、誠に遺憾ながら2012年4月27日に発表しました業績の見通しと期末配当金の見通しを次のとおり変更させていただきました。

2013年3月期の連結業績及び1株当たり配当金の見通し

売上高	8,500億円 (前年同期比 4.4%増)
営業利益	410億円 (前年同期比 119.4%増)
当期純利益	200億円 (前年同期比 -)

	2013年3月期	2012年3月期実績
中間配当	40円	40円
期末配当	(見通し) 40円	40円
年間配当	(見通し) 80円	80円

下期以降に向けて一コスト管理を徹底し、収益力の改善に注力

厳しい事業環境が予想されるものの、下期以降に向けて全社一丸となって次の取り組みに努めてまいります。

- 構造改革の確実な実行
- 設備投資・研究開発費の見直し
- 購入資材・諸経費などコストダウンの徹底



■ 受動部品ビジネスの拡大

構造改革は当初の計画通り進んでおりますが、受動部品を中心にさらに推進するとともに、設備投資は一時的に凍結し、投資計画の見直しも実施します。また、受動部品ビジネスを拡大させるために、高周波部品の販売増加と顧客基盤の拡大、そして薄膜部品など新製品の販売の拡大を図ります。今後も長期的な企業価値の拡大を目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては一層のご支援をお願い申し上げます。

株主様からよくあるご質問

Q 今後の想定為替レートと業績への影響は？

A 第3四半期以降の想定平均為替レートは対米ドルで77円、対ユーロで100円です。米ドルでは、1円の円高によって営業利益で約17億円(年間ベース)の影響があります。また、ユーロではほとんど影響を受けません。



製品別業績概要

(2013年3月期上半期)

受動部品

当セグメントは、コンデンサ事業、インダクティブデバイス事業及びその他受動部品で構成され、売上高は、1,820億96百万円（前年同期2,016億1百万円、前年同期比9.7%減）となりました。



コンデンサ事業

自動車市場向けでセラミックコンデンサの販売は増加、産業機器市場向けでアルミ電解コンデンサ及びフィルムコンデンサの販売は減少。

アルミ電解コンデンサ
セラミックコンデンサ



インダクティブデバイス事業

自動車市場向けの販売は増加。情報家電市場及び産業機器市場向けの販売は減少。

インダクタ



その他受動部品

通信機器市場向けで高周波部品の販売は減少。圧電材料部品・回路保護部品及びセンサの販売は、通信機器市場及び情報家電市場向けで増加したものの、産業機器市場向けで減少。

SAWフィルタ/
高周波モジュール

フィルム応用製品

当セグメントは、エネルギーデバイス（二次電池）及びアプライドフィルムで構成され、売上高は、509億75百万円（前年同期404億25百万円、前年同期比26.1%増）となりました。



エネルギーデバイス

スマートフォンを中心とした通信機器市場及び情報家電市場向けで大幅に増加。

リチウムポリマー電池

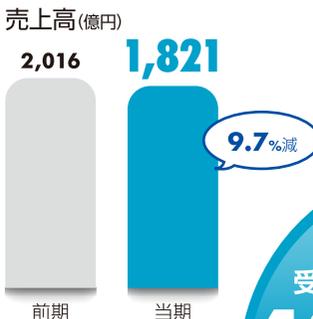


アプライドフィルム (旧記録メディア)

情報家電市場向けで減少。

ITOフィルム

〈主要市場分野〉



〈主要市場分野〉



フィルム応用製品
12.3%

〈主要市場分野〉



磁気応用製品

当セグメントは、記録デバイス事業及びその他磁気応用製品で構成され、売上高は、1,716億12百万円（前年同期1,605億85百万円、前年同期比6.9%増）となりました。



記録デバイス事業

HDD用ヘッドの販売は、販売数量が増加したことにより増収。

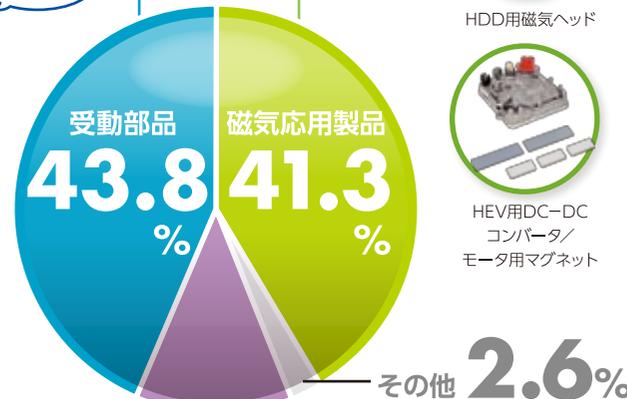
HDD用磁気ヘッド



その他磁気応用製品

電源の販売は自動車市場向けで増加したものの、産業機器市場向けで減少。マグネットの販売は、自動車市場向けで大幅に増加。

HEV用DC-DC
コンバータ/
モータ用マグネット



期待の新製品

2012年9月から生産を開始!

モバイル機器向け超薄型

フレキシブルなワイヤレス給電用コイルユニット

電磁誘導を利用したワイヤレス充電。携帯端末をパッドに置くだけで、ケーブルもコネクタも不要です。

近年、スマートフォンの多機能化に伴って、消費電力が拡大し、バッテリーを充電する頻度が増えています。いつでも、どこでも充電できる環境を整えるため、各種推進団体がワイヤレス給電の標準化を進めています。TDKでは、今後増加するこれらの需要に対応すべく、得意とする磁性材料技術とプロセス技術などを駆使した製品を開発、提供しています。さらに薄い、厚さ0.52mm品を開発済みで、0.50mm品も開発中です。

先進パッケージング技術による
高効率モジュール化

■超薄型シートコイル



業界トップクラス
厚さ0.57mm!

世界の次世代エネルギー普及に貢献するパワーコンデンサの最先端拠点、TDK-EPC(株)のマラガ工場

TDKではエネルギー効率の改善を重要なテーマの一つととらえ、幅広い電子部品をラインアップし、次世代エネルギーの普及に貢献しています。世界の電力会社では、長距離送電を行う際にエネルギーの送電損失をできるだけ抑えるため、HVDC*(高電圧直流送電)システムを採用する傾向



▲スペインのマラガ市に完成した
パワーコンデンサの新工場

が強まっています。このHVDCシステムの安定に、今後ますます重要な役割を果たしていくのが高効率な送電に貢献する、TDKのパワーコンデンサ。

最先端技術であるマルチレベル電圧型コンバータ(VSC)を使った新たなHVDCシステムでは、従来のシステムと比較して最大で10倍以上のパワーコンデンサが使われます。このような需要に対応すべく2011年に完成したのが、パワーコンデンサを生産するスペインのマラガ工場。パワーコンデンサは、HVDCシステムのみならず、公共交通機関、自動車、再生可能エネルギーシステム機器、産業用や医療用機器など、さまざまな分野でも活躍しています。



▼VSC HVDC
送電用モジュール

▲HVDC向け
パワーコンデンサ
MKK-DCシリーズ



▲マラガ工場内部の様子

マラガ工場のパワーコンデンサは、これまでに米国サンフランシスコのHVDCシステムや欧州北海の風力発電システムに採用されており、さらに欧州横断送電網の一部となるINELFEプロジェクト(フランス・スペイン間の送電システムの接続)にも使用される予定です。

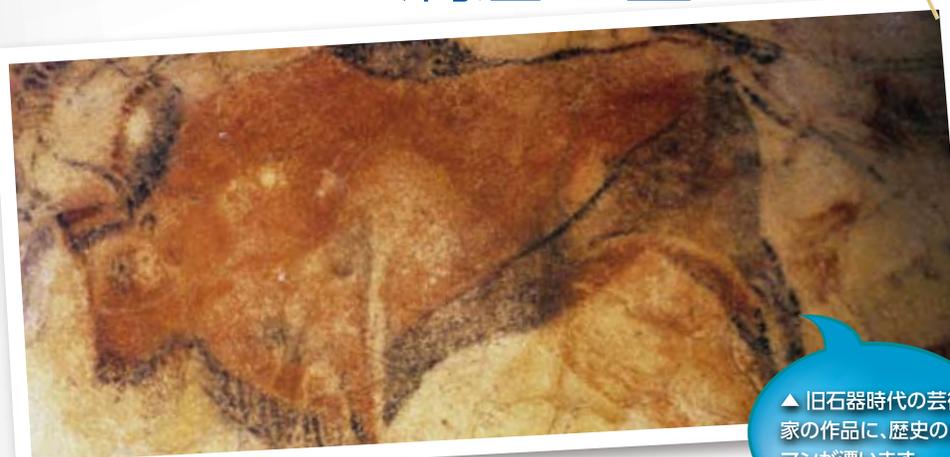
こうした取り組みにより、TDKは世界のパワーコンデンサ市場で確固たる地位を築くことを目指しています。

※HVDC(高電圧直流送電)

長距離送電において、従来の3相交流送電に代わり、高電圧の直流で送電する方式。交流送電と比べて送電ロスが大幅に低減され、電線などの敷設コストも削減できるなどのメリットがあります。

このコーナーでは、海外のグループ企業と、その国にある世界遺産をシリーズで紹介します。2回目は情熱の国スペインです。

アルタミラ洞窟壁画



▲旧石器時代の芸術家の作品に、歴史のロマンが漂います。

1万8千年の時を超えて色鮮やかなままに残ったアルタミラ洞窟壁画の数々。

スペイン北部、サンタンデル市の西に、長さ270mほどの世界的に有名な洞窟があります。アルタミラ洞窟です。ユネスコの世界遺産に登録されているこの洞窟には、旧石器時代末期に描かれたとされる野牛やイノシシ、馬、トナカイなどの動物を中心とした壁画が多数残されています。

この洞窟が発見されたのは19世紀後半。アマチュア考古学の研究者とその12歳の娘が、偶然に見つけました。その際、娘は「お父さん! 牛よ!」と叫んだとされるエピソードが残っています。アマチュア考古学者は学会に発表しましたが、なつ造だと

疑われてまったく相手にされず、失意のうちに世を去りました。しかし20世紀に入って科学的な調査が行われ、これらの洞窟壁画は間違いなく旧石器時代のものだとして認識されるようになりました。

18,000年前頃と16,500~14,000年前頃に描かれたとされる洞窟壁画。現在では傷みがひどくなっているため非公開となっていますが、なんとも気の遠くなるような時間の流れです。洞窟の中の絵の描かれた場所は儀式を行う場所と推察されており、そこで太古の芸術家はどんな祈りを込めて作品を描いたのでしょか。

特集 スマートグリッドとTDK

TDKの重点分野である“エネルギー関連市場”にフォーカス!

スマートグリッドってなに?

電力の需要と供給をマッチングさせる賢い送電網です。

昨今よく耳にするスマートグリッドとは、ITを活用して、電力需給の効率化・最適化を図る、賢い(スマートな)次世代の送電網(グリッド)のことです。

スマートグリッドは、主に、各家庭の電力使用状況を見える化するスマートメータを中核とした**HEMS**(ホームエネルギー管理システム)、電気自動車などの**エコカー**、そして自然エネルギー発電を含めた**発送電施設**などを双方向のネットワークで結びます。そして、社会全体での最適な電力需給を実現する次世代の社会インフラとして期待されています。

実は…

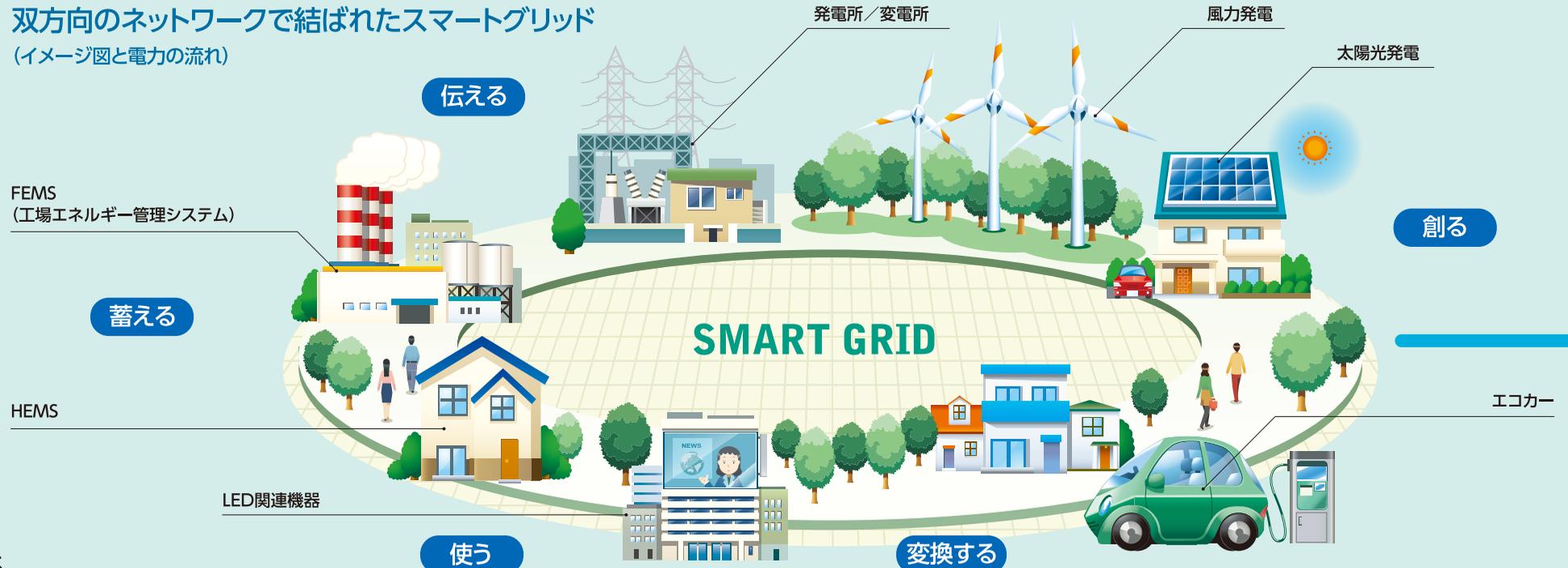
エコカーはスマートグリッドと連携して電気を蓄えられます!



エコカーとは、石油資源や二酸化炭素排出の問題解決に向け開発された、地球環境にやさしい自動車のこと。エンジンとモータの両方を使うハイブリッドカー(HEV)やプラグインハイブリッドカー(PHEV)、またガソリンを使わず電気エネルギーだけで動く電気自動車(EV)などがあります。PHEVやEVには、電力を貯蔵する電池が搭載されており、スマートグリッドを使ったピークシフト*ができます。また災害時にはこれらエコカーの電池をエネルギー貯蔵庫として使用できる日も近いと言われています。

*電力を使う時間帯をずらし、電力需要ピーク時の消費電力を抑えること

双方向のネットワークで結ばれたスマートグリッド (イメージ図と電力の流れ)



TDKの技術と製品でスマートグリッドの進化をサポート!

再生可能エネルギーシステムの普及に貢献

パワーコンディショナ需要予想(世界)
(GW※)



出典:HS iSuppli Research, February 2012 ※GW:ギガワット=10億ワット

多彩な受動部品で パワーコンディショナの急増に対応

再生可能エネルギーシステムで発電した直流電力を家庭や工場用の交流電力に変換するパワーコンディショナ。将来的にはこのパワーコンディショナの需要が急拡大するものと見られています。

TDKは、パワーコンディショナ用の各種電子部品を提供しており、アルミ電解コンデンサやインダクタなどの受動部品では業界随一の品揃えを誇っています。また、双方向DC-DCコンバータなどの電源製品でも高効率な変電・送電をサポートするなど、あらゆる電力シーンで活躍しています。

パワーコンディショナは再生可能エネルギーシステムに必要不可欠な装置!!



高効率送電に貢献
高電圧直流送電用
パワーコンデンサ
(4ページもご参照ください)

電力を低ロスで変換
パワーコンディショナ用
フィルムコンデンサ



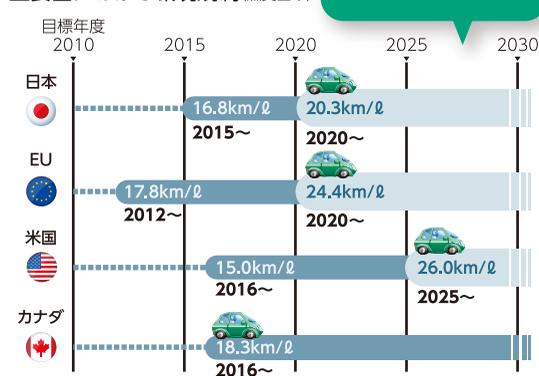
発電効率の向上
風力発電機用
大型金属マグネット

小型・軽量化で燃費を向上
フェライトマグネット/
金属マグネット



エコカーの燃費向上と環境負荷低減に貢献

主要国における環境規制(燃費基準)



出典:(株)富士経済「2012年版 HEV、EV関連市場徹底分析調査」をもとにTDKで作成

マグネットや各種電子部品で自動車の進化をサポート

近年、自動車に対する環境規制は厳しさを増しており、今後も世界各地でより厳格な燃費基準が適用される予定です。

TDKは、電子部品の小型・軽量化と、燃焼効率の向上の双方から、自動車の燃費向上に貢献しています。たとえば、近年の自動車には数多くの小型モータが搭載されています。TDKは、そのモータに使用されるフェライトマグネットの重量を従来品と比較し60%軽量化するとともに、モータ全体でも30%の小型化を実現し、車体の軽量化に大きく貢献しています。また、エコカー向けにも、車載電子機器用に電圧を変換するDC-DCコンバータなど、エコカーの高性能化や燃費向上に寄与する電子部品を幅広く提供しています。



高効率変換でエコカーの燃費を改善
車載用DC-DCコンバータ

車のバッテリーの電流を監視して電力使用を最適化
車載用電流センサ



株主メモ

● 株式に関するお問合せ先

証券会社等にて株式をお持ちの場合

○ 配当金の受取方法の指定、変更	お取引のある証券会社等
○ 単元未満株式の買取・買増請求	
○ 住所変更、名義変更等	
未払配当金の照会、支払い	下記の株主名簿管理人

特別口座にて株式をお持ちの場合

各種手続き等	下記の口座管理機関
--------	-----------

* 特別口座の方は、証券会社等に一般口座を開設し、株式を振替えることをお勧めします。
 (特別口座とは、2008年12月末までにほふり(証券保管振替機構)に株券をお預けにならなかった株主様の株式を、当社がお預かりし一旦管理させていただいている口座のことです)

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先及び電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店

〈お知らせコーナー〉

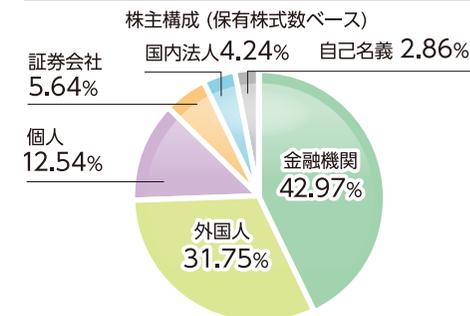
- **配当金の受取方法について:**
配当金はお受取り忘れのない、安心、確実、スピーディーな、口座振込でのお受取りをお勧めします!
- **単元未満株式の買取・買増請求について:**
単元未満株式の買取・買増請求に係る当社に対する手数料を2012年4月1日から無料とさせていただきますので、是非ご利用ください!
(但し、特別口座の株主様を除き、証券会社等に対する手数料が別途必要となる場合がありますので、ご注意ください)
- **今回お送りした「配当金計算書」について:**
毎年の確定申告を行う際、添付書類としてご使用いただくことができますので、大切に保管ください!

● 株式の状況

基本情報

上場証券取引所	東京(証券コード:6762)、ロンドン
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当基準日	期末:毎年3月31日、中間:毎年9月30日
株主総会基準日	毎年3月31日(そのほか臨時に必要があるときはあらかじめ公告いたします)
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告(当社のホームページ http://www.tdk.co.jp/ に掲載いたします)
1単元の株式数	100株

株主の状況 (2012年9月30日現在) 株主数 36,698名



● IR年間スケジュール

当社のIRの年間スケジュールは以下のとおりとなっております。



当社ホームページのご紹介

<http://www.tdk.co.jp/ir/>

当社のホームページでは、個人株主・投資家の皆様へさまざまな情報を分かりやすくご紹介しております。どうぞご覧ください。

【編集後記】いつも株主通信「TDK TODAY」をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。今夏に続き、本誌がリニューアル版の2回目となりましたが、いかがでしたでしょうか?今後も分かりやすく読みやすい誌面作りに努めてまいります。どうぞご期待ください。



〒103-8272 東京都中央区日本橋1-13-1
<http://www.tdk.co.jp/>



この冊子は植物油インクを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。